

参 考 資 料

(走水・馬堀地域)

目 次

1	本市における教育環境を整備するための課題等について	
	（１）少子高齢化を伴う人口減少について	1
	（２）小学校児童数の減少について	1
	（３）走水・馬堀地域における課題	2
	（４）走水・馬堀地域の小学校の状況	3
2	諮問文	7
3	委員名簿	8
4	審議経過	9

（出典：横須賀市教育委員会作成資料）

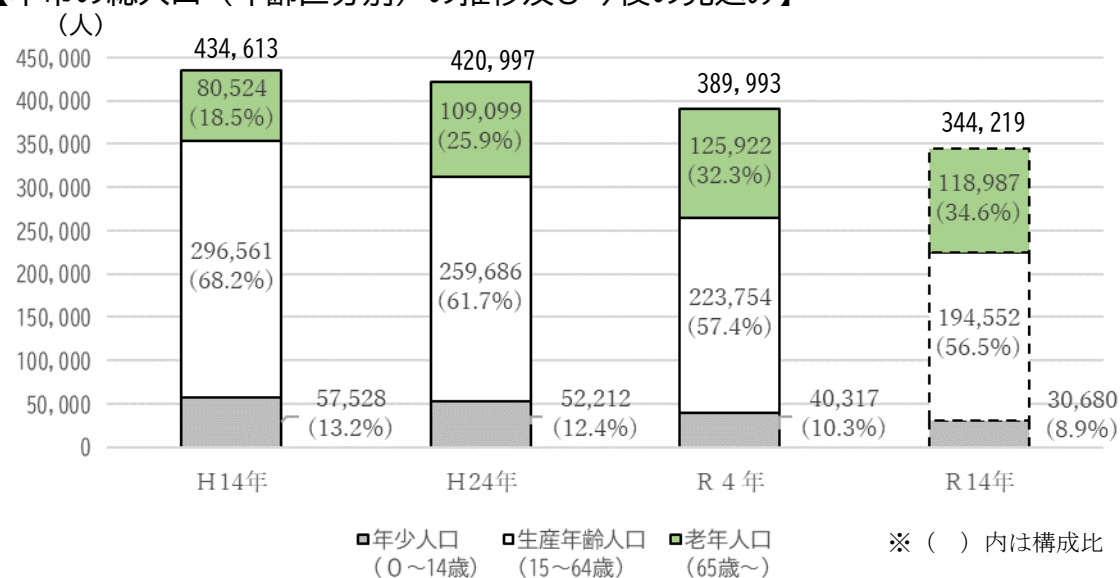
1 本市における教育環境を整備するための課題等について

(1) 少子高齢化を伴う人口減少について

本市の総人口は、平成5年度の439,280人をピークに減少し、今後もさらに減少が見込まれます。

また、この状況は本市だけではなく、全国的な状況だと考えられます。

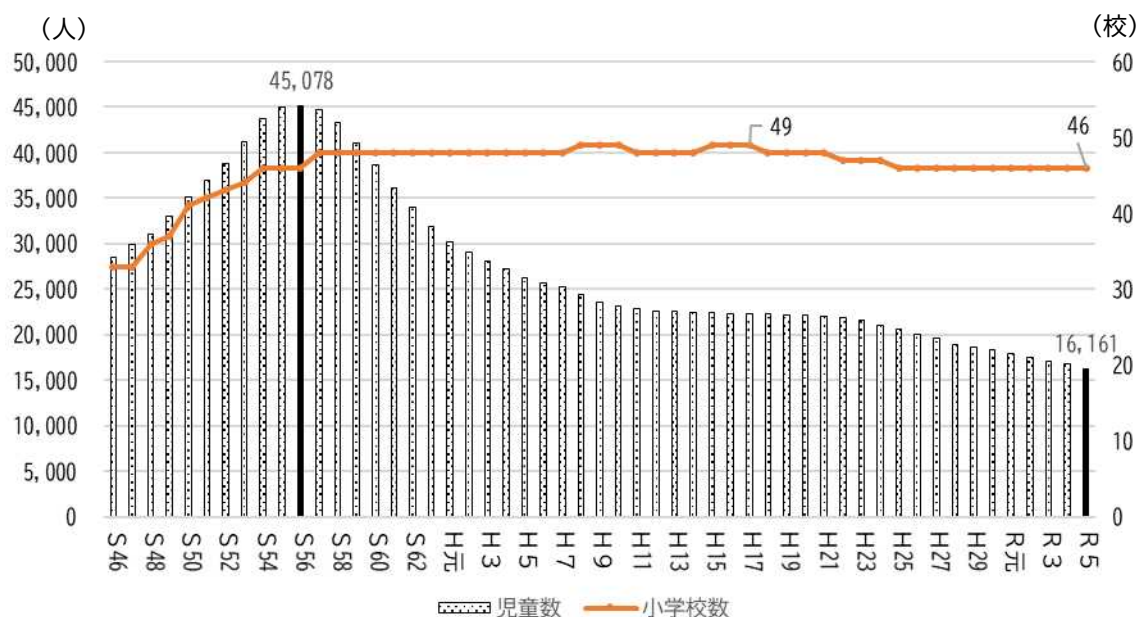
【本市の総人口（年齢区分別）の推移及び今後の見込み】



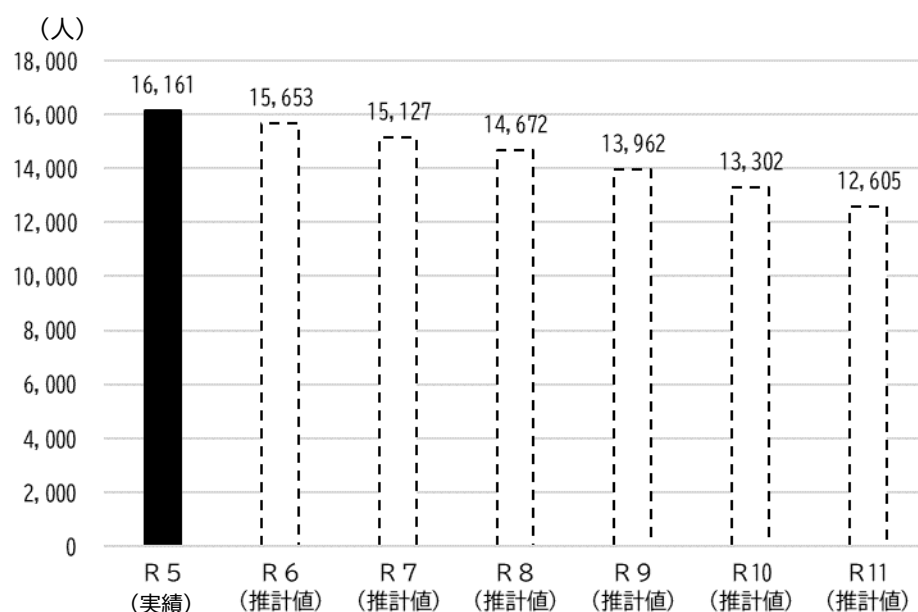
(2) 小学校児童数の減少について

小学校の児童数は昭和56年の45,078人をピークに減少し、(1)のとおり少子化により、今後さらに児童数が減少することが見込まれます。

【小学校児童数、学校数の推移】



【小学校児童数の今後の見込み】



(3) 走水・馬堀地域における課題

- ①馬堀中学校区にある3つの小学校（走水小学校・馬堀小学校・望洋小学校）の小規模化が進んでいる。
- ②特に走水小学校は児童数が32人と市内で最も小規模であり、複式学級となっている。隣接する馬堀小学校も単学級が存在する小規模校で、今後も児童数、学級数の減少が見込まれる。
- ③望洋小学校も学区内の大規模開発から20年が経過した現在10学級であり、令和11年度（2029年度）には8学級となることが見込まれ、将来的には望洋小学校も含めた馬堀中学校全体で小中一貫教育の観点も踏まえた学校の再配置を検討する必要がある。

(4) 走水・馬堀地域の小学校の状況

① 走水・馬堀地域小学校児童・学級数（令和5年5月1日現在）

学年	走水小学校		馬堀小学校		望洋小学校	
	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数
1年	4（0）	1	42（2）	2	34（1）	1
2年	1（0）		42（3）	2	36（2）	1
3年	5（0）	1	46（3）	2	40（2）	2
4年	10（3）	1	33（1）	1	43（2）	2
5年	4（1）	1	54（4）	2	44（4）	2
6年	8（1）	1	46（4）	2	48（0）	2
合計	32（5）	7（2）	263（17）	16（5）	245（11）	12（2）

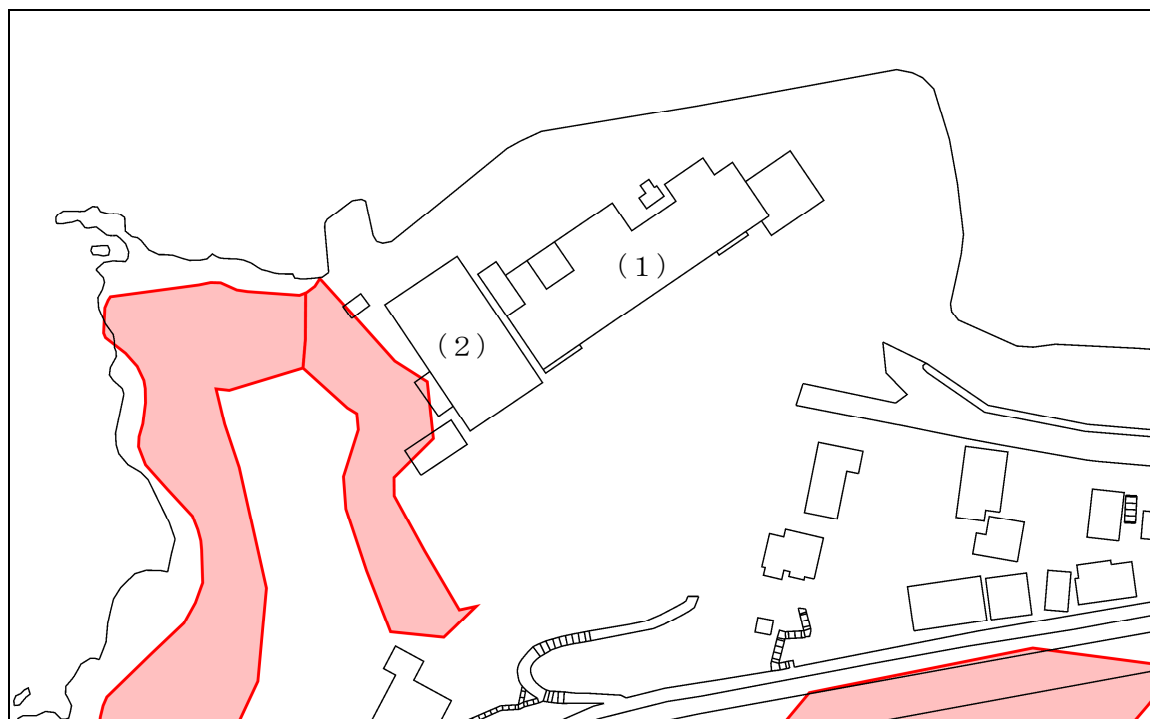
※（ ）は特別支援学級の内数

② 走水・馬堀地域小学校児童・学級数推計

学校名			R 5	R 6	R 7	R 8	R 9	R10	R11
走水小	児童数		32	30	32	31	31	36	37
	学級数	通常	5	5	5	5	5	6	6
		特支	2	2	2	2	2	2	2
馬堀小	児童数		263	253	236	249	239	231	223
	学級数	通常	11	11	11	12	11	10	9
		特支	5	5	5	5	5	5	5
望洋小	児童数		245	231	224	220	216	206	199
	学級数	通常	10	10	10	10	10	9	9
		特支	2	2	2	2	2	2	2

③ 走水・馬堀地域の小学校校舎等の状況

【走水小学校】

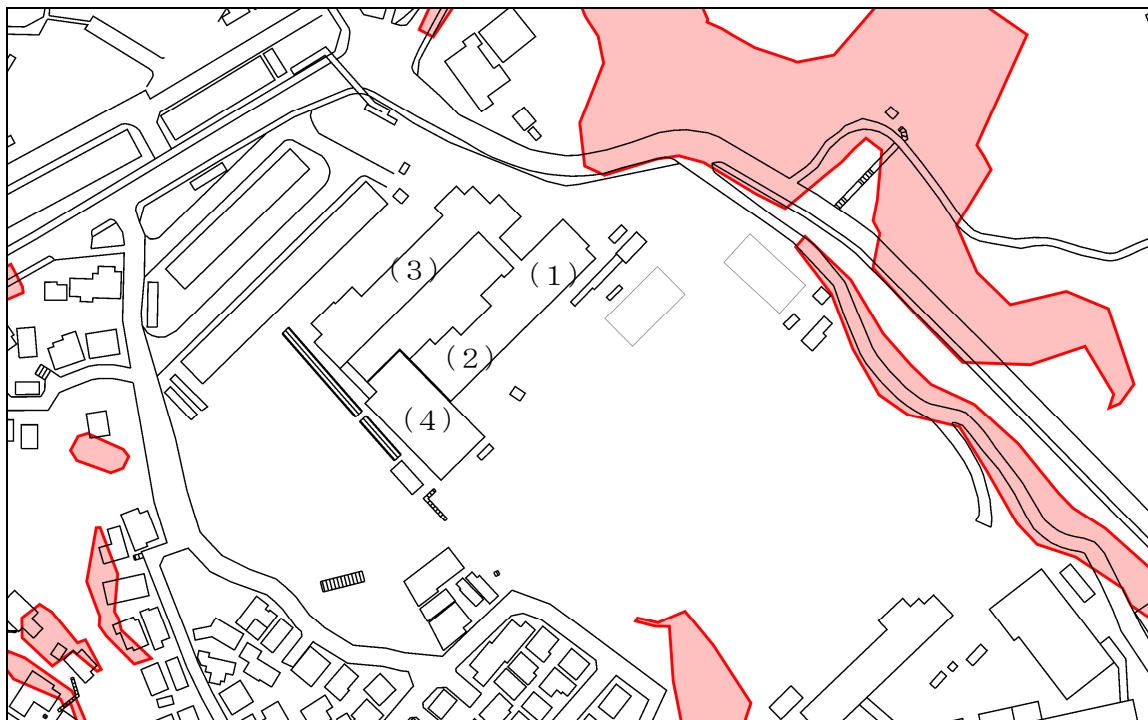


※網掛けは土砂災害特別警戒区域（レッドゾーン）

令和5年（2023年）現在

番号	建物名	階数	延床面積 (㎡)	建築年度		建築年数
				西暦	和暦	
(1)	管理教室棟	4	2939	1974 年	昭和 49 年	49 年
(2)	体育館	1	460	1974 年	昭和 49 年	49 年

【馬堀小学校】

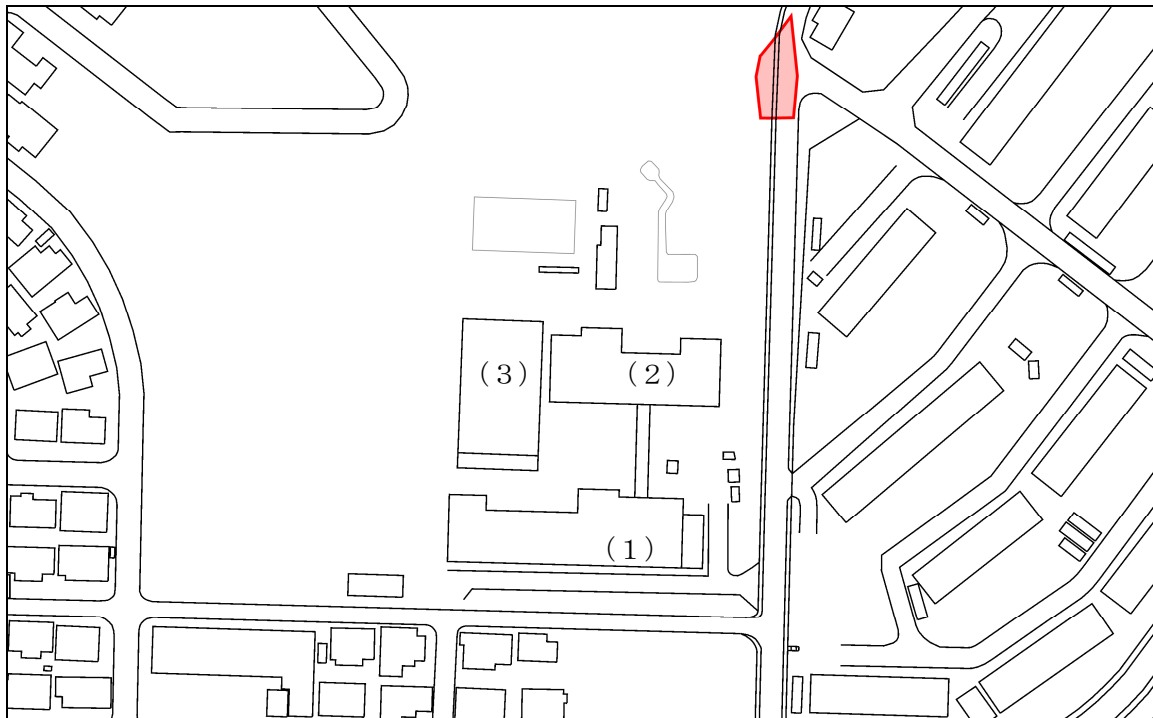


※網掛けは土砂災害特別警戒区域（レッドゾーン）

令和5年（2023年）現在

番号	建物名	階数	延床面積 (㎡)	建築年度		建築年数
				西暦	和暦	
(1)	管理教室棟	3	1271	1971 年	昭和 46 年	52 年
(2)	教室棟	3	1278	1972 年	昭和 47 年	51 年
(3)	教室棟	3	2523	1978 年	昭和 53 年	45 年
(4)	体育館	1	668	1975 年	昭和 50 年	48 年

【望洋小学校】



※網掛けは土砂災害特別警戒区域（レッドゾーン）

令和5年（2023年）現在

番号	建物名	階数	延床面積 (㎡)	建築年度		建築年数
				西暦	和暦	
(1)	管理教室棟	4	3115	1974 年	昭和 49 年	49 年
(2)	普通教室棟	4	2073	1977 年	昭和 52 年	46 年
(3)	体育館	1	650	1977 年	昭和 52 年	46 年

2 諮問文

(令和4年度第2号諮問事案)

横教政第14号

令和4年(2022年)5月23日

横須賀市立小中学校適正配置審議会委員長 様

横須賀市教育委員会

教育長 新倉 聡

走水・馬堀地域における市立小中学校の教育環境整備の推進について（諮問）

横須賀市教育委員会では、令和4年3月に策定した「横須賀市教育環境整備計画」に基づき、人口減少が進む本市において、学校規模の小規模化、施設の老朽化及び通学区域に関する課題等の解決に向けた検討を行い、市立小中学校の教育環境の整備を行うこととしています。

検討に当たっては、「現在と未来の子どもたちのより良い教育環境のために」という共通の視点で協議を行い、全市及び検討地域・対象校の将来像を見据えた方策等の検討を行う必要があります。

つきましては、専門的かつ幅広い見地から、走水・馬堀地域における市立小中学校の教育環境整備の推進に係る方策等についてご意見をいただきたく、諮問いたします。

3 委員名簿

横須賀市立小中学校適正配置審議会 委員名簿

令和4年5月1日現在

No	氏 名	区分	役 職 等
1	出 石 稔	識	関東学院大学 法学部教授
2	上 田 滋	関	横須賀市連合町内会代表
3	黒 川 理 美	校	小学校校長会代表
4	櫻 井 聡	保	横須賀市P T A協議会 会長
5	外 川 翔 大	教	三浦半島地区教職員組合 書記長
6	藤 枝 聡	識	立教大学 総長室次長
7	宮 田 丈 乃	教	横須賀市保育会 会長

(敬称略・50音順)

区分欄 「識」学識経験者、「関」関係団体の代表者、「保」保護者、
「校」小中学校の校長、「教」教育委員会が必要と認める者

4 審議経過

回	開催年月日	審議事項等
第1回	令和4年5月23日	教育環境整備計画の検討地域・対象校の現状・課題について
第2回	令和4年12月26日	地域別協議会の中間報告について
第3回	令和5年6月26日	検討地域・対象校の教育環境整備の方策について
第4回	令和5年7月31日	検討地域・対象校の教育環境整備の方策について
第5回	令和5年9月14日	答申（案）の検討について
第6回	令和5年10月12日	答申の策定